

グローバルベンチマークの設定による収益力向上に向けた取組や新陳代謝の後押し

経済産業省
平成26年10月24日

日本再興戦略における記載とその後の進捗

一、日本産業再興プラン

1. 緊急構造改革プログラム(産業の新陳代謝の促進)

(3)新たに講ずべき具体的施策

⑤グローバルベンチマークの設定による収益力向上に向けた取組や新陳代謝の後押し

企業の収益力向上、ビジネスモデルの再構築に向けて、グローバルトップ企業群と日本企業のビジネスモデルや成長性を比較・検討し、経営判断や経営支援の参考となる評価指標(グローバルベンチマーク)について幅広く検討する。また、これを踏まえつつ、必要に応じ、産業競争力強化法第50条等(市場構造の調査・公表)により、収益力向上に向けた取組等や新陳代謝を後押しする。

【その後の進捗】

- ・グローバルベンチマークにあたっての検討の視点や対象産業等の検討の進捗について10月の日本の「稼ぐ力」創出研究会にて報告。
- ・今後は個別産業に係る具体的な議論に移行する予定。

グローバルベンチマークの視点と方針

グローバルベンチマークの視点

1. グローバル経済圏における立ち位置の把握

グローバル経済圏の企業は、市場における競争やバリューチェーンもグローバル規模で展開。従来の国内での同業者間比較ではなく、業種や国を越えたグローバル規模での現在及び将来の事業戦略上の立ち位置を把握し、比較検討する。

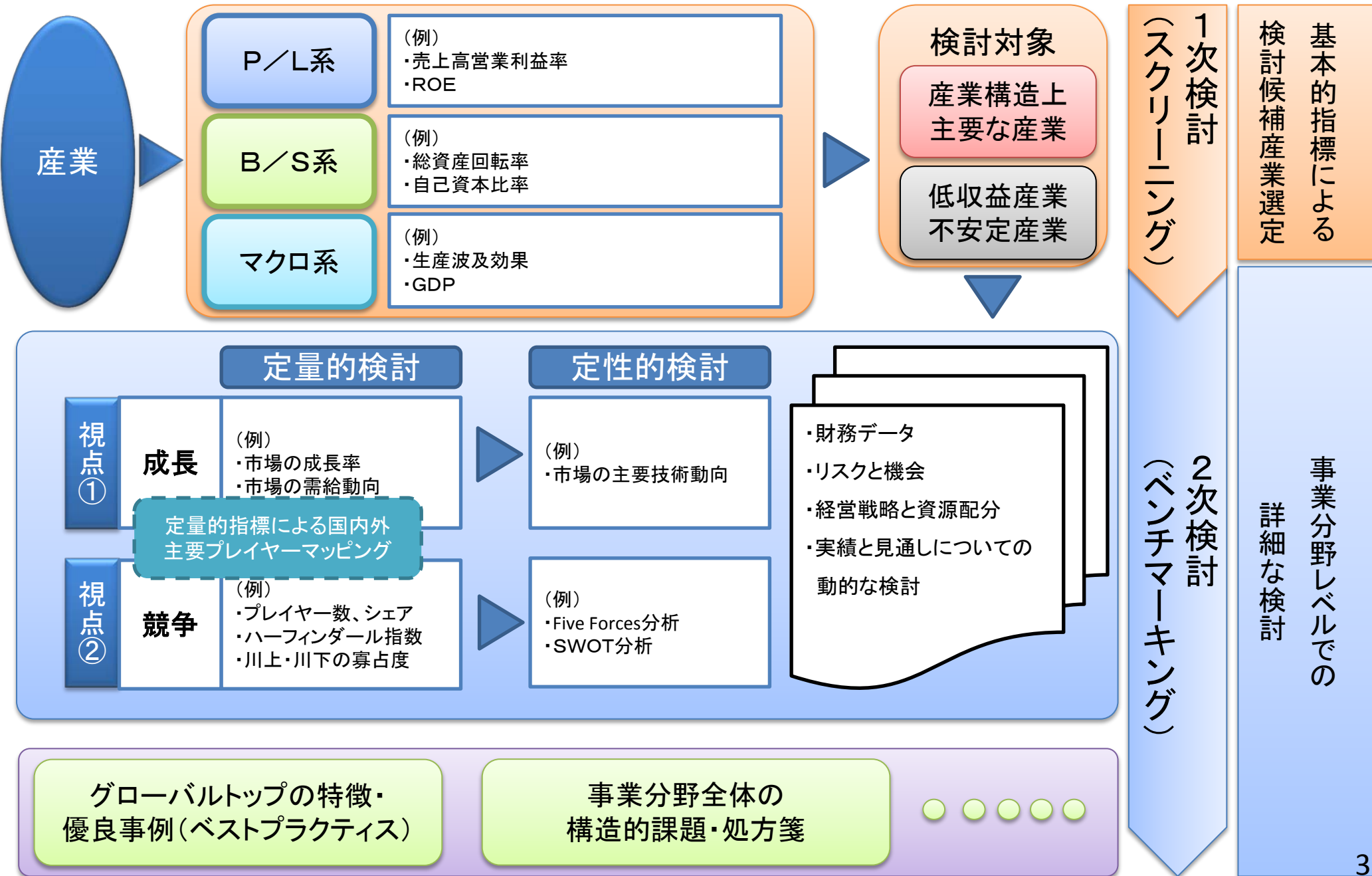
2. インベストメント・チェーンにおける共通認識の醸成

インベストメントチェーン高度化の観点からは、チェーンの担い手である企業と金融機関が情報を共有し、共にベンチマーキングの議論を行う必要

グローバルベンチマークの方針

1. 企業単位、産業単位ではなく事業分野ごとの検討
2. 定量的な分析だけでなく定性的な検討も実施
3. 静的な分析だけでなく動的な分析も実施
4. 企業単位での経営戦略・変化への対応も検討
5. グローバル企業のホームマーケットに着目した検討
6. 企業戦略の秘匿性に留意した技術力の評価
7. 商圏の範囲と付加価値の源泉を意識した検討

グローバルベンチマークの検討手順(案)



集中検討すべき産業の選定(1次検討)について

集中検討すべき産業候補を特定するため、以下の検討を実施

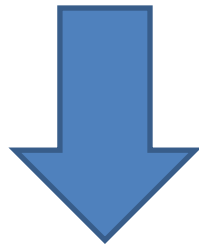
- P/LとB/S関連指標を用いて、収益性・安定性の観点から、各産業を定量評価
- 我が国経済・社会・産業における重要性という観点から、他産業への波及効果やGDPに占める割合、雇用等について、各産業を定量評価

【P/L・B/S項目の定量評価による点数付け】

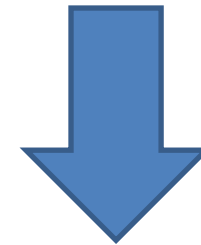
- 法人企業統計が公表する25項目の指標により各産業を定量化し、点数付け
- 低得点産業については、低収益・不安定産業として検討候補

【マクロ系】

- 各産業について生産波及効果、GDP、従業員数、付加価値額を整理
- これら各項目において高位の産業については、我が国産業構造における重要性が高い産業として検討候補



【集中検討を要する候補産業】



繊維、紙・パルプ、石油精製、窯業・土石製品、非鉄金属、小売、自動車、鉄鋼、産業機械、化学、電機

2次検討について(競争性指標の例)

指標	選別内容	業界
製品シェア	市場成長率、技術優位性などと共に、製品シェアを分析することで成長可能性を比較	全業種
需給バランス	需要と供給のバランスを分析することで成長性の有無を比較	全業種 (特に商圏の限られる企業など)
工場稼働率	規模の経済を求めべき業種の現状の供給構造、設備余力を比較	製造業
労働装備率	労働集約的でないか、適切な設備投資がなされているかを比較	製造業 (特に装置産業など)
参入障壁要素 (新規参入者数 等)	許認可などの法制度および装置産業など、スイッチングコストの高さを示す実質的な参入障壁について比較	全業種
川上・川下の寡占度	対象業種の川上・川下の寡占度により価格決定力への影響等を検討	全業種
海外/国内競争者数	業界の競争者数を比較	全業種
競争相手の変化	事業ポートフォリオの入れ替えや、ビジネスモデルの変化を分析	全業種
ビジネスモデル指標 (例:リードタイム 等)	労務費、材料費等の個別のコスト指標だけでなく、財務指標以外の要素(例:生産開始の意思決定～納品にかかる時間等)を勘案することで、急激な需要変動等のリスク耐性、財務指標に現れない「ビジネスモデル」を分析。	全業種

2次検討について(成長性指標の例)

指標	選別内容	業界
海外売上高比率	グローバルトップ企業と比較して、海外売上高比率(主要消費地)を比較しグローバルな業界・産業を選別	全業種 (特に輸出型企業など)
市場成長率	地域毎の市場成長率を分析し、製造拠点と共に成長の可能性を比較	全業種
拠点配置	成長市場をとらまえることができるか、拠点戦略と商圈、コスト優位性(輸送費、人件費など)を比較	全業種
設備投資額(率)	成長市場に対し適切に設備投資を行っているかを比較	装置企業
研究開発費(率)	技術優位性に対し適切に十分な研究開発を行っているかを技術動向も踏まえつつ、比較	開発型企业
広告宣伝費(率)	(業界によっては)シェア維持のために適切な広告宣伝を行っているかを比較	BtoC型企业
新製品投入量/売上高	過去〇年以内に投入した新製品の売上高割合を比較することで、事業の成長性を評価	BtoC型企业
EV/EBITDA倍率	同業他社との比較により市場の評価を比較	全業種
PER	市場(投資家)からの、その企業に対する期待度を比較	全業種
売上高、総資産 等 (再掲)	中長期の変化率を市場の変化率と比較することで、これまでの成長性を評価	全業種